

図書館だより



第48号
令和3年1月21日発行

鹿児島純心女子短期大学図書館
KAGOSHIMA Immaculate Heart college LIBRARY

■ 巻頭言

「本との三密」

図書館長 佐々木 亘 (哲学、経済学、宗教思想)

学生の皆さんは全員、一年前期に私の「キリスト教概論」を履修しています。難しかったですでしょうか。授業アンケートには好意的な意見が多く見られ、とても救われた気持ちになりました。皆さん、ありがとうございました。グループ発表や個人レポートのために、普段なら手に取ることもない分野の本をたくさん読みましたね。「自分の頭で考える」ということは、人生でとても大切です。ソクラテスの言葉を借りると、「吟味のない生活は、人間の生きる生活ではない」のです(プラトン著『ソクラテスの弁明』第28章)。しかも、キリスト教のメッセージには、皆さんの人生に必ず寄りそう「創造的知識」がつまっています。どうか、しっかり吟味して充実した生活をおくってください。「求めなさい。そうすれば、与えられる。」のです。

昨今、コロナ禍の中、なかなか今までの生活が送れませんね。私が所属する学会も、すべて中止かオンライン大会となり、出張する機会がありません。先日もオンラインでの研究会と懇親会があり、コロナならではのいろいろな苦労話で盛り上がりました。ある大学の経済学部先生は、「経済倫理と思想」という必修科目を、オンデマンド授業で行っているそうです。その場合、出席確認を兼ねて小テストをしなければなりませんので、毎週400名ほどの採点をしているとのこと。普段の講義以上に準備が増え大変です。

このように、自由に移動や人と会うことが難しい状況の中で、変わらずに行えるのは何でしょう

か。それはやはり、我田引水ですが「読書」ではないでしょうか。読書は場所と時間を選

びません。我が純心女子短大の図書館には、なんと16万点の本や雑誌がそろっています。そこには、創立60周年という長い歴史があります。これを活用しない手はありません。どうか図書館の中をブラブラ歩いてみましょう。自分とは関係ないと思っていた書棚に、ひょっとしたらあなたの人生を変えるような本が見つかるかもしれません。そう、昨年も書きましたが、「化学反応」を引き起こす力を本は持っています。どうか探検の旅にでてみてください。本と三密になりましょう。

さて、私は最近、14世紀前半、後期スコラを代表するウィリアム・オッカムについても研究を始めました。オッカムは、トマス・アクィナスの没後10年ほどたって生まれた人物です。オッカムがその後の哲学・神学に与えた影響について、「哲学的思弁によって複雑多岐に枝を伸ばした神学の木は、こうした枝々が彼(オッカム)の剃刀にあって削ぎ落とされた」と言われています。じつさい、オッカムはそれまでの神学や哲学を大きく変えていく人物で、別名「宗教改革の先駆者」。はたしてアクィナスの思想はオッカムの剃刀によって削ぎ落とされたのでしょうか?オッカムの著作の森へ迷い込こみ、道なき道を進んでおります。皆さんも、この一年、どのような本と出会うのか、私も楽しみです。



SF超短編小説との出会い

デザイン表現コース 教授 高田 さとこ (陶芸)



幼い頃我が家の書棚には、小公子や小公女などの世界名作文学が並んでいました。挿絵がたくさん描かれた分厚い本を読んで、空想にふけることが大好きな少女でした。高校生になったとき、星新一さんの超短編小説『ショートショート』に出会い、一目惚れで文庫本を読みふけたことを覚えています。人と話をしているのが飛び、お相手の方に「それは今は関係ないですね。」と指摘されることが度々ありました。今は一言、「話は変わりますが」と前置きして、なんとか会話が続いています。長編の小説よりも短編のショートショートが、私には合っているのかもしれない。

小学5年生の頃、図画工作を教えてくださいました先生主宰の図画工作クラブで、放課後未来の想像画をよく描いていました。空に張り巡らされた透明パイプの中を車輪のない車が縦横無尽に移動していたり、シェフ型ロボットが朝食を作ってくれたり、今は短大から帰る時、暮れなずむ空の色が青色から徐々に藍色に変化して行く様を眺めたりして、空の雲を飽きずに見ていて、あれはゴジラだ！とか、空想の扉を開いてどこにでも飛んでいきます。ドラえもんのみみつ道具“どこでもドア”が実在すると、とても嬉しいアイテムになると思います。

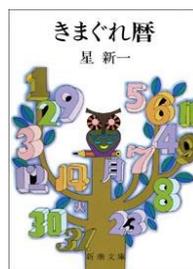
星新一さんの『きまぐれ暦』の中に、“単位について”という短編があります。英国のSFの翻訳をした時に、フィート、ヤード、マイルなどをメートルに換算して、わかりやすくしたそうです。これを読んでいて思い出したことがありました。

現在デザイン表現コースで、陶芸を学生たちに教えていますが、板作り（タタラ成形）という技法で、お皿・カップ・花器などを作る時に「陶土を6mmの厚みにスライスしてください。」という課題を出すと、最初は同じ厚みにスライスできず、2mm厚くなったり、3mm薄くなったりします。私は半世紀近く焼き物を作り続けていますので、土の厚みや乾燥の度合いなどが手で触っただけでわかりますが、

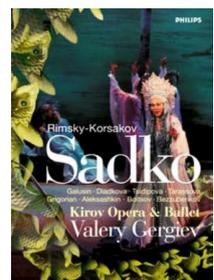
学生の多くは厚みの単位がピンとこない人が多く、成形に適した土の柔らかさも手で触ってわかるまで、暫く時間が必要となります。

陶芸の土は素焼きをしなければ、乾燥させて水を与えると元の土に戻ります。江戸時代は、竈の灰の灰汁を染物屋さんが染物に使い、灰汁抜きして残った灰を焼き物屋さんが釉薬に使うなど、生活の中に現代の3R(リデュース、リユース、リサイクル)が、活かされていたそうです。

私の名前“さとこ”の由来は、ニコライ・リムスキー＝コルサコフが作曲した歌劇サドコから名付けたと両親から聞いています。このオペラは、主人公サドコが湖の岸辺でグースリを奏でていたら、水の王に「湖で金の鱭のある魚を獲れるか、地元の商人と賭をせよ。魚を獲れるように取り計らうから、おまえは商人の店を得て金持ちになれるだろう」と言われ、6人の商人が自分の店を賭け、サドコが湖で金の鱭の魚を獲ったことから豪商となりました。その後グースリを持って海に飛び込んで、水の王のためにグースリを演奏し、王が喜んで踊り始めると、海上では海が大荒れとなり、守護聖者モジャイスクのニコラの助言により地上へ戻る事ができました。そして、ニコラの大聖堂を建て、聖母のための教会も建てましたという物語です。この由来を聞いて、何故漢字を用いず平仮名の名前なのかがわかりました。空想好きの私が陶芸と出会い、純短で学生たちと楽しく焼き物を作ることで、自分を表現することを追求できる幸せを日々感じています。



914.6||HO
短大5階文庫



ニコライ・リムスキー＝コルサコフ作曲
劇場Sadko

あの日の僕に

こども学専攻 准教授 中島 賢太郎

(教育学・特別支援教育)



「『ぼくは悪くない』だから絶対に『ごめんなさい』は言わない。言うもんか、お父さんなんか」皆様が小学校6年生国語の授業、最初に出会った教材『カレーライス』の冒頭です。このフレーズに心動いた方々もいらっしゃるのではないのでしょうか。

カレーライスの著者重松清氏の作品の中に、理想とする先生がいます。『青い鳥』の主人公、村内先生です。村内先生は、中学の非常勤の国語の先生。言葉がつかえて、上手く話せません。村内先生は言います。「先生は、うまくしゃべれません。(中略)でも、一所懸命しゃべります。ほんとうに、たいせつなことだけしゃべりますから」この言葉に、私は衝撃を受けました。今までの自分は、大切なことを分かって子どもたちに話をしていたのか、多くの混乱する言葉を子どもたちに投げかけていただけではないかと反省しました。大切なことは何か、皆様と考え、子どもたち・皆様と幸せを育てられる教師になれるよう前進します。

もう一人私には理想とする先生がいます。それは小学校時代の恩師です。私は、小学校・特別支援学校の教員時代、子どもたちの一番星(自分の良さ)を輝かせようと子どもたちと共に成長させて頂きました。一番星の発想の原点がどこにあるのか、私の中で曖昧でありました。こども学専攻及び教職課程の授業づくりのため、恩師の著書を読み返すと「『友達のよいところや美しい行為を見つけよう』と朝の会や帰りの会で発表させたり、手紙の交換をさせたりすることもあった。人には必ず何か良いところがあり、それぞれ違う才能や個性や考えがあることを知ってほしい、と望んだからである」の一文がありました。「ここだったのか」と自分の無意識にあった温かな学びの原点が恩師によって育まれたことに気づき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。恩師は、児童に感動する心を育てるために、優れた児童文学に描かれている様々な生き方や思考、心情、自然や科学などの本から受ける知識や感動を

味わわせたいと本を紹介され読書を勧められました。また、いろいろな内容の詩(怒りを表現したものや美しい人の心など)を、朗読や視写させて下さいました。私はこの詩の時間が大好きでした。少年時代、小説や物語を読むことがあまり好きではありませんでしたが、詩の本をよく図書室に借りに行っていたのを覚えています。そして、恩師の影響で短歌を詠むようになりました。教師になり、今まで出会った子どもたちの通知表に一人ひとりの一番星を思いを込めて綴りました。あの少年時代の恩師の温かな愛が今も生きています。

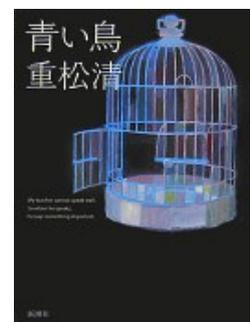
私は、5階まで階段を上がり図書館の扉を開ける時、詩に出会えるとドキドキしたあの日の少年の気持ちになります。また、それは本との出会いに恩師の繋がりを感じているからかもしれません。自分が知っている教科書の話でも、好きな詩でも、あなたと繋がる何かがある図書館にはあるはずです。

光差す 一段一段 上りつき

あの日の僕に また会いに行く



913.6||SH
短大5階文庫



913.6||SH
短大5階和書



学生図書委員の活動報告

委員長



現代ビジネスコース2年

K. K.

「図書館ってなにができるだろう」と様々なことを考えた一年間でした。新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が中止となり、図書館でも純短祭の展示や、ビブリオバトルなどのイベントを行うことができませんでした。そのような状況下でも、展示制作のグループを、学年コースを超えた構成にしたり、今年ならではの展示を考えたり、今までにない図書委員活動ができたのではないかと感じます。

図書館の魅力は“どんな本も平等にある”という所だと思います。たとえあまり人気のない本や、書店に置かれないマニアックな本なども存在します。このような情勢だからこそ、新たな本との出会いを図書館で体験してみたいかでしょうか。

書記



デザイン表現コース1年

I. N.

図書委員をやってみて、色々な学科の人と関わることが出来たと感じています。図書館の展示についてアイデアを出し実行する。それらの工程に関わりました。図書委員で協力し、展示コーナーを仕上げていくのが大変楽しかったです。POPを作成したり、画用紙などを使って視覚的に楽しいコーナーになるように工夫をしました。

私のおすすめの本は、綾辻行人の『十角館の殺人』です。この本は、孤島を舞台にしたミステリ小説で、結末に驚きました。

図書館でお気に入りの場所は、閲覧室です。静かな図書館で勉強をすると、はかどります。掃除時間には、安心して利用してもらえるよう消毒作業を行っています。

空き時間や調べ物がある時など、図書館を活用してはどうでしょうか。



副委員長



食物栄養専攻2年

U. M.

私は、元々本を読むことが好きで、本に囲まれる空間である図書館で図書委員をしてみたいなと思い、図書委員になりました。

図書委員としての活動は新型コロナの影響で、できたことは少なかったですが、テーマ展示などを通して少しでも図書館を盛り上げることに携われて良かったと感じています。

また、本の整理をしていくうちに色々な種類の色々な本があることに気づいて、たくさんの方に興味を持つことが出来たと思います。

各コースに役立つ本や雑誌、視聴覚教材が多く揃っているので、皆さんにも是非図書館を多く利用していただきたいと思います。

◆学生図書委員とは◆

毎年各クラスから1名選出され

1年間図書館に関する様々な

活動を行います。

- ・図書館内整理作業
- ・テーマ展示
- ・純短祭展示

展示活動

●テーマ展示

学生図書委員15名が3班に分かれテーマを決め、3か月ごとに様々な工夫をこらした展示を行っています。図書館入口付近に展示されており、多種多様なジャンルの書籍が好評となっている人気コーナーです。

●クリスマスの展示

イエス様の誕生を待つ待降節にあわせ、館内の飾りつけを行いました。



「おうちじかん」
(6-8月)



「秋-Autumn-」
(9-11月)



「HOT本」
(12-2月)



★Christmas★

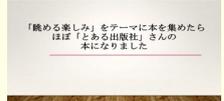


話題の展示コーナー

◆図書館カウンター横・ミニ展示をご存知ですか!◆

教員の図書委員でもある、こども学専攻森木朋佳准教授がご担当されている人気コーナーです♪

多種多様なジャンルがそろい、私たちの知らない世界に誘ってくれます。POPのコメントも毎回楽しみです。ぜひ“森木マジック”をご堪能ください!!



本学で図書館実習を体験した2人にお話を聞きました

本学司書課程では図書館の専門職員である司書の資格取得を目指す学生に対して、司書としての資質を体験的に養成するため、約1週間程の実習を計画しています。

デザイン表現コース2年 Y. R.

1. なぜ司書資格を取得しようと思いましたか？

本を読むことが好きで、将来的に本に関わる仕事が出来れば良いなと思ったからです。

2. 図書館業務を体験して驚いた点や、意外だった点がありますか？

想像以上にパソコンと向き合う時間が多かったことです。発注業務や入力業務、貸借など考えたこともなかった業務に触れることができました。

3. 図書館実習を終えて、感想を聞かせてください。

いつ図書館に行っても、心地よい空間が広がっているのは司書さんのおかげなのだと感じました。本があるべき場所にあったり、机が綺麗だったり、コーナーが設置されていたり、今まで気づけなかったことに気がつくことができました。

4. あなたにとって、図書館のオススメポイントはどこですか？

私は、奥の美術関連の本が並んでるところです。普段なら、なかなか足は踏み入れないところで、見たこともない本や作品に出会えるからです！



現代ビジネスコース2年 K. K.

1. なぜ司書資格を取得しようと思いましたか？

昔から本を読むことが好きで、本についての知識を深めたいと思ったのがきっかけです。書店とは違い、誰でも利用することができる図書館を作るという司書の仕事に魅力を感じ、資格を取得しようと決めました。

2. 図書館業務を体験して驚いた点や、意外だった点がありますか？

司書業務の目的は、綺麗で正確に書架整理をすることだけではなく、利用者に利用しやすい形で提供できるように図書館を構成させるべきだと学んだことです。常に図書や利用者主体で考え、判断する大切さに気付きました。

3. 図書館実習を終えて、感想を聞かせてください。

いつも何気なく利用していた図書館を、職員として新たな視点で見ることができました。講義だけでは分からない、実際の現場の雰囲気や業務内容などを多く学ぶことができ、さらに司書の魅力に気付くことができました。

4. あなたにとって、図書館のオススメポイントはどこですか？

窓から綺麗に桜島が見える所です。純短の図書館は、鹿児島島の図書館の中でも標高の高い位置に設置されており、遮るものなく桜島を望むことができます。休憩場所として訪れても最適だと思います。



現代ビジネスコース2年
I. M.

『図書館実習に参加して』

今回、私は台風の影響で行うことができなかった実習を、本学の図書館にて行わせていただきました。1日ではありましたが、カウンター業務、排架・装備・テーマ展示など、様々なことを体験させていただきとても充実した実習となりました。

その中で、卒論や論文を書く人に向けた展示制作を行いました。図書館の展示を行うのは初めてでしたが、見ていただいた人に温かみを感じてもらえるように、手書きで文字を書くようにしたり、季節感を意識して紅葉やイチョウの飾りをつけたりと工夫し、なんとか完成することができ良かったです。

本学で1日実習！

✿✿ 図書委員によるオススメ ✿✿



英語科 2年
T. A.

『世界を信じるためのメゾット / 森達也著』

私が皆さんにお薦めしたいのは「世界を信じるためのメゾット」という本です。この本を読んで、メディアに携わる方々が世の中の事件や事柄を伝える時にどのような工夫を行っているのか、様々なメディアが社会に現れ多くの情報に囲まれている中でのメディアの向き合い方について学ぶ事ができるため、ぜひ読んでいただきたいです。また、新聞やインターネットで情報を読む時にその情報に対して自分はどのように考えるかを意識する事の大切さを学びました。



361.453||MO
短大4階和書



食物栄養専攻 1年
K. M.

『よるのばけもの / すみのよる著』

毎晩夜になると化け物に変身してしまう少年あっちーがある晩、学校に行くとそこにはクラスでいじめにあっている矢野がいた。矢野はいつも不可解な行動をとってみんなから気味悪がられていた。そんな矢野とその日から「夜休み」を過ごすことになる。夜休みの時の自分と、クラスにいる時の自分。どっちが本当の自分なのか思い悩むあっちー。あっちーの出した答えはとても意外だったけど一番納得できる答えでした。ぜひ、皆さんも読んでみてください。



913.6||SU
短大5階和書

私の図書館の好きなところは小説のコーナーです。掃除中に本棚整理をしていると、有名な作家やドラマ・映画化された本が並べられています。その本に興味を持ち借りる時が多々あります。図書館には非常に多くの本があり、検定の為の問題集や参考書も気軽に借りることができます。英語の本もあり長文が苦手な私には非常に勉強になります。

また、図書館にはビデオルームがあり邦画や洋画は勿論、検定や論文作成などに役立つ視聴覚教材も揃っています。私は空きコマに見ることが多いです。静かな場所ですので勉強をするのにも快適です。



英語科 1年
F. M.



913.6||NA
短大5階和書

『ぼくはこうして大人になる / 長野まゆみ著』

私がおすすめする本は、長野まゆみさんの「ぼくはこうして大人になる」です。元々、長野さんの作品のファンだったこともあり、図書館でまだ読んでいなかった作品を見つけ嬉しくなりました。そして、一番最初に手に取ったのがこの本です。長野さんの作品独特の世界観に自分の考えが変わるきっかけにもなった本です。ぜひ、一度読んでみてください。



こども学専攻 2年
M. N.

年間貸出冊数



令和元年度の総貸出冊数は学生581人に対し、11,547冊でした。1人当たりの貸出冊数は**19.9冊**と昨年を下回りました。全国平均は約9.0冊ですのでそれに比べるとかなり高い数字です。

学科・コース別では以下の通りです。

1位	英語科1年	56.6冊
2位	こども学専攻2年	27.2冊
3位	食物栄養専攻2年	18.9冊
4位	英語科2年	18.4冊
5位	こども学専攻1年	18.3冊

図書購入依頼・相互利用

令和2年度の図書購入依頼（リクエスト）、他大学への貸借・文献複写依頼・受付の件数は以下の通りです。来年度も引き続きご利用ください。

- 図書購入依頼・・・60件
- 他大学図書貸借依頼・・・92件（内訳：学外 0件/学园内 92件）
- 他大学図書貸借受付・・・204件（内訳：学外 8件/学园内196件）
- 他大学文献複写依頼・・・1件
- 他大学文献複写受付・・・1件

（令和3年1月8日現在）

春休みの長期貸出をご利用ください。

令和3年1月18日～
2年生 → 3月18日
1年生 → 4月1日

業務日誌

4月～5月：オリエンテーション・ガイダンス

- 4月 九州地区私立短期大学図書館協議会総会(コロナの為メール会議)
- 九州地区大学図書館協議会総会(コロナの為メール会議)
- 5月 鹿児島県大学図書館協議会総会(コロナの為メール会議)

8月1日～31日：図書館蔵書点検

- 11月：第22回図書館総合展（オンライン会議）

新規継続雑誌のお知らせ

致知

（人間学を学ぶ月刊誌）

いつの時代でも仕事にも人生にも真剣に取り組んでいる人はいる。そういう人たちの心の糧になる雑誌を創ろう。『致知』の創刊理念です。



館内の雑誌は寄贈も含めると約150タイトルを所蔵しています。新刊号以外のバックナンバーは4日間の貸し出しが可能です。新たに2種類の雑誌も加わりました。ぜひ、ご活用ください！



PriPri (プリプリ)

（保育が広がるアイデア月刊誌）
感動する心を育てる遊びのアイデアや園内の装飾プラン、保育のアドバイスなどを美しい誌面に満載した保育の総合情報誌です。保育環境に携わる先生方のクリエイティブな保育を応援します。

編集後記

「新型コロナウイルス」この言葉をこれほどまでに聞かされるとは、誰も思わなかった事だろう。要請により休校や感染防止の為、一斉にマスク着用も。授業もオンラインになる等、数年前には想像もしていなかった現実の日々が待ち受けていた。

政局では総理大臣、県知事、鹿児島市長も一新し、まさに激動の一年となった2020年。そんな中、純心短大も創立60周年を迎えた。

希望を胸にコツコツと努力を積み重ねる学生達を前に“知の拠点からの発信”を、まだまだより一層の磨きをかけ続ける図書館である。

卒業後も利用できます

卒業後も、学生時と同じように図書館を利用できます！

■お知らせ■

新型コロナウイルスの為一般の方はしばらくの間お断りしております。再開はホムダシでご確認ください。